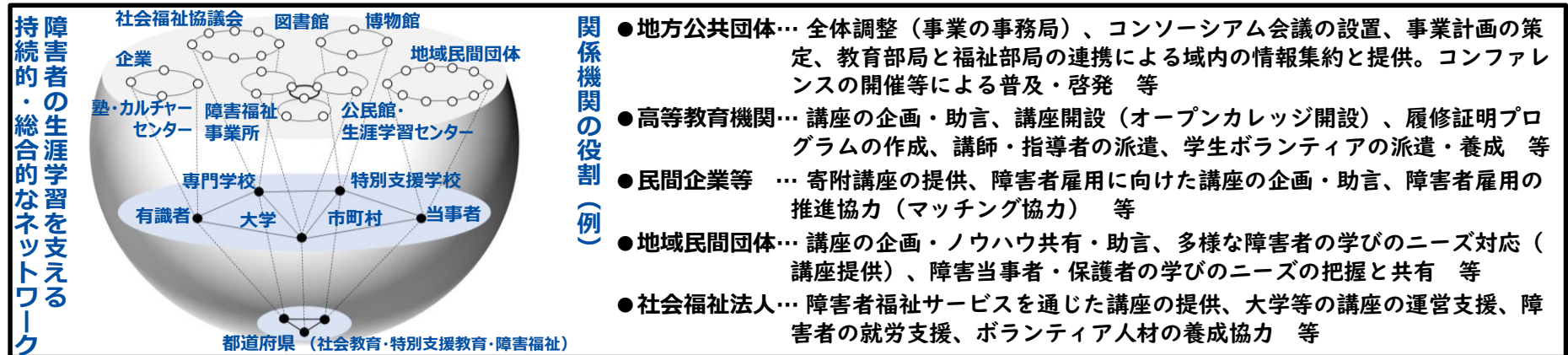


取組内容の概要

- ◆ 学校卒業後の障害者の学びの場を拡充するため、**地方公共団体（主に都道府県）が教育部局と福祉部局の垣根を越えて中心**となり、**大学等の高等教育機関や社会福祉法人、地元の企業、NPO団体等が連携**した、障害者の生涯学習のための「**地域連携コンソーシアム**」形成の**モデル構築**を行う。
- ◆ **参画する機関がそれぞれ得意とする役割を担う**ことで、地域全体として**持続可能な障害者の生涯学習を推進する体制づくり**をねらいとする。
- ◆ **社会教育施設や大学等の教育機関、社会福祉法人等が協力し、障害者が参加できる学びの場の提供**や、大学等による履修証明制度の活用など、**障害者の自立や就労も見据えた新たな学習プログラムの開発・実証等**の取組を進める。
- ◆ 学びの場づくりの拡大や質の向上に資する**人材育成の研修プログラムの開発・実証等**を進める。
- ◆ **障害のあるなしに関わらず参加できる講座等の情報収集と提供を可能とする仕組みを構築**するとともに、**関係機関や障害当事者等が参加するコンファレンス等の開催**を通じて、本事業の成果の普及・啓発を進める。

地域連携コンソーシアムの構成イメージ



期待される成果（アウトプット）

持続的・総合的な学びの支援の仕組みを構築する

- 関係機関に人的・金銭的な課題がある中で、学びの場を支える**持続的な支援を実現**する。
- 関係者の**縦割りを超えたネットワーク構築**に向けてコンソーシアムが自律的に運営される。

障害者が様々な学びの機会に参加できる

- 障害者が参加可能な**学びの場が拡大し、学びの成果を示す**ことができるようになる。
- **学びの場に関する情報が収集・展開**されることで、障害者の学びへの参加が促進される。

期待される成果（アウトカム）

- ◎ 各地域で障害のある人の**社会参加と活躍を推進**
- ◎ 各地域における**支援人材の増加と障害への理解を増進**
- ◎ 障害のあるなしに関わらず**生きやすい共生社会の実現**へ